

全国一般大阪地方労働組合
大阪市東成区中道3-2-34
 TEL 06-6977-9381
 FAX 06-6977-9382
 発行人 福島 憲一
 編集人 道脇 清

かえて交流会に参加し親睦を深めた。

組合名	要求額	月数	回答額	月数
さかえ清掃	806,000	2.60	743,870	2.5
常陽興業	825,125	2.50	825,125	2.5
泉都興業	722,925	2.55	708,750	2.5
S Y C	845,000	2.60	812,500	2.5
羽曳野委託清掃	832,000	2.60	753,360	2.4
日光	689,000	2.60	681,175	2.5
金岡興業	812,500	2.60	781,250	2.5
河内長野清掃	568,750	3.5	487,500	3.0
永大産業	585,477	2.2	346,782	1.3
電子専門学校	1,092,948	3.0	728,632	2.0
前川	501,600	2.0	426,360	1.70
日照	293,972	1.88	184,355	0.74
ハイウェイ管制	712,035	2.5	655,072	2.3
サンビー	967,659	3.0		
東部冷蔵	400,000			
アイエスケー	671,164	2.6	619,536	2.4
西部ゴム	764,790	3.0		
言語交流研究所	949,812	3.0		
サンプラザ	370,392	1.5		
トーエー産業	1,005,000	3.0		
内藤証券		3.0		
和泉委託清掃		2.5		1.55
エスワイミハラ		2.6		
エイジケア		1.0		
高石委託清掃		2.5		
レナウン	450,000	1.5		
都島自校	700,000			
済生会病院	858,162	3.0		
共立産業		3.0		
さかのヘルパー		2.0		
守口自教		2.0		1.59
アルピオン		2.5		
南海グループ		2.5		1.0
林化成		2.5		
丸文		2.5		
エイト		2.5		
平均	697,871	2.48	618,180	2.08



連続労働相談に 向け駅頭情宣！

11月13日、JR京橋駅周辺に20数名の仲間の参加で実施、15～16日連続労働相談を執行部で対応する。



改憲阻止集会に連続して取り組む！

全国一般大阪の仲間たちは、10・20「止めよう戦争への道」集会・デモに参加し、さらに11・3憲法集会に参加して大阪の地で改憲阻止の声を上げた。

「止めよう戦争への道」関西の集いは10月20日13時半よりエルおおさかにおいて、700名の労働者・市民が結集して開催された。沖縄出身のジャーナリストで衆議院議員・屋良朝博さんとジャーナリスト・半田滋さんの講演を通じて米軍機事故の実態と日米地位協定の抜本的見直しの課題、安保法制下の自衛隊の軍備増強の実態が明らかにされた。労働組合や市民団体のアピールを受け、中北龍太郎さんの集会のまとめ、平和人権センタ―・高木敏雄さんの行動提起の後、西梅田までデモ行進を行った。日教組、自治労の仲間も多数結集して組合旗を掲げデモ行進を盛り上げた。

11・3大阪総がかり集会は11月3日、扇町公園に1万2000人の労働者・市民を結集して開催された。今回の憲法集会はスピーチと歌と踊りを交互に行うプログラムであった。「MICSUNLIFE」のヒップホップから集会は開始され、辻元清美衆議院議員らの安倍政権の批判、「おーまきちまき」さんの歌、高山佳奈子さんのスピーチ、中川五郎さんの歌、韓国の李承勲さん（韓国市民社会団体連帯会議事務局長）による日本の、沖縄の労働者市民と連帯する決意表明、大阪朝鮮高級学校の舞踏、そして沖縄の山城博治による連帯の決意表明へと集会は進んだ。山城さんからは辺野古だけでなく、沖縄の宮古島で自衛隊の基地建設が進むなど沖縄周辺の島々自衛隊の前線基地化が急ピッチでなされていること、山城さん自身も宮古島に張り付いて闘っている熱い報告がなされた。集会の最後には「安倍9条改憲ノー」のポテッカードを全体で掲げて集会を締めくくった。

しかし、今回のようにスピーチと歌とを交互にするイベント方式の採用が、憲法集会の（若者）参加増に結びつくといえるのか、こうしたデモ無し・イベント式憲法集会で良いのか、今後の課題も浮かび上がっているようにおもふ。

「なくそう」官製ワーキングプア、大阪集会

ユニオンおおさか 高橋章夫

10月14日、エルおおさかで全国から150名の公務関係の非正規労働者の集いが開催されました。私も非正規の闘いを学ぼうと参加しました。

自治体やその周辺の企業で働く非正規の労働者（呼び方は「臨時職員」とか色々と呼ばれている）・公務に関連する非正規労働者は、2016年には64・3万人、それまでの11年間で18・7万人、41・1%も増加しています。その職種も、臨時教員、家庭児童相談員、学童保育、介護の認定相談員、ハローワーク相談員、給食調理員、非常勤講師など多岐にわたります。

政府は、来年4月から地方公務員法などを「改正」して、これらのいろいろな勤務形態の非正規労働者をひとまとめにし、「会計年度任用職員」と名付け、全員を1年単位の雇用で切り下げ、その労働条件も事実上改悪しようとしています。

実際、一部の自治体では一時金を支給する代わりに基本給を引き下げる動きが見られるそうです。

「会計年度任用職員」とするのは、形だけ公務員にしてスト権を付与しないためとも言われています。

全体集会、分散会では、全国からいろいろな闘いを担っている様々な人々が発言しました。これまでの各地の労働条件を改善する闘いを基礎にして、「会計年度任用職員制度」に対する闘いを訴えました。

・この移行によっていままでの労働条件が切り下げられるのか？

・賃金はどうなるのか？

・民間にはある「5年ルール」はどうなるのか？

・公務関係の非正規の闘い、「会計年度任用職員制度」に対する闘いに全国一般も連帯して闘っていく必要があると思います。

団体交渉日程

- 「11/14」
内藤証券労組（18時半）
エルおおさか
レナウン支部団交（19時）
全国一般大阪事務所
- 「11/15」
三好興産支部団交（15時半）
エルおおさか
- 「11/19」（18時、心斎橋）
南海グループ支部団交
- 「11/21（木）18時半」
サンプラザ労組団交 本社
- 「11/25（月）15時」
丸文支部団交 TKP梅田
- 「11/26（木）」大東市民会館
マルカミ支部団交（18時）
- 「11/29」18時 美原文化会館
エスワイミハラ労組団交
- 「12/2」15時、高石商工会議所
高石委託キンキ興業支部団交
- 「12/17」18時、北部リージョンセンター
和泉委託金楽商事支部団交